学校図書館における読書支援の取組

東京都立鹿本学園の取組

東京都立鹿本学園　主任教諭　司書教諭　生井恭子

鹿本学園は東京都のどこにあるのかな？

鹿本学園は、東京都の東側にある江戸川区にあります。
江戸川区は東京23区の中で、千葉県に近いところにあります。

東京都立鹿本学園

● … 鹿本学園の場所

〈所在地〉
東京都江戸川区本一色二丁目
24番11号

東京都全体図（白地図）



江戸川区の地図（拡大図）



まとめ

鹿本学園は、東京都の東側にある**江戸川区**にあります。
JR総武線の新小岩駅の南東側に位置しています。
千葉県との境に近いところにある学校です。

鹿本学園ってどんな学校？🌈

小学部・中学部・高等部があります

「肢体不自由教育部門」と「知的障害教育部門」がある学校

〇肢体不自由教育部門は小学部・中学部・高等部

〇知的障害教育部門は小学部・中学部

〇一人一人の学びや生活を大切にしています。

〇児童生徒数は520名以上

〇教職員は250名以上の東京都の中でも大規模の学校

校訓は🌈
「向学虹輝(こうがくこうき)」

「一人一人が自分らしく輝き、学び続けることを大切にする」
という願いが込められている

〇広くて設備が充実しています
- 校内には体育館2つプールも2つ
- 学習や運動に取り組むことができる
- ボッチャなどのスポーツ活動も行っている

〇障害の特性に応じた教室環境作り
そのため、学習する教室は分かれている

両部門の子どもたちが同じ空間で過ごせる場所が学校図書館・廊下の一部に設置している図書コーナー

そもそも、どうして？

〇都立高校には「司書」の配置があり

同じ都立学校なのに、学校図書館の整備はままならず。無い学校も

「司書」の存在はさらに厳しい状況

〇発達がゆっくり、障害には一人一人異なる特性がある特別支援学校だからこそ、様々なジャンル・種類の蔵書する学校図書館・資料のことが分かる専門職（司書）が必要

鹿本学園の学校図書館

・基本的には貸出返却は児童生徒が行う

・返却後は、白いブックトラックへ

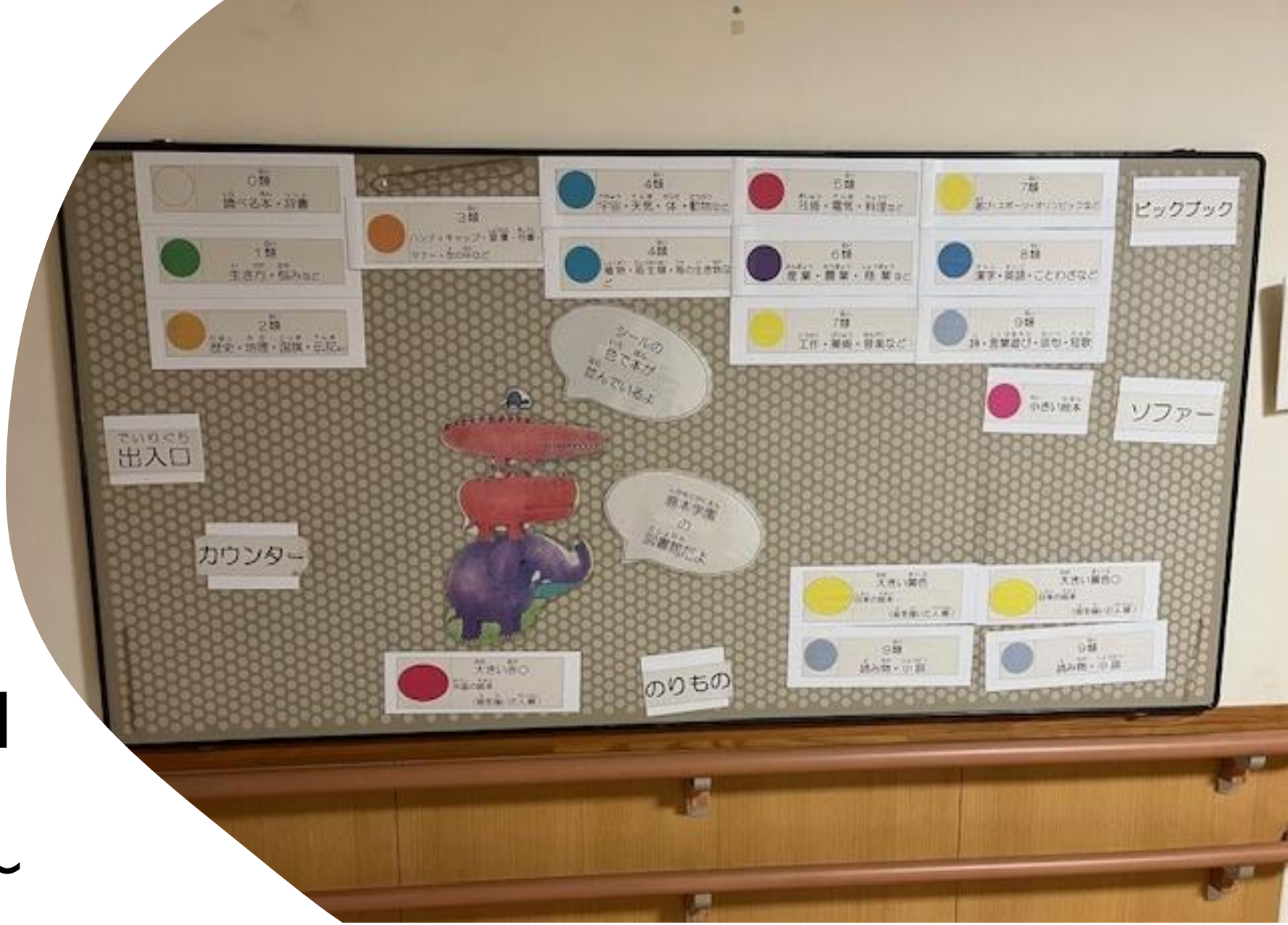


・車椅子の児童生徒が図書館内を移動できるように、移動できるベンチのみ設置
・混んでいるときは、譲り合って使用





・一桁の分類番号と
　色別シールで分類
・大まかな内容の見
　出し



学校図書館の館内図
出入り口から右回りに一周すると、0類～9類まで配置

・図書館前の廊下（えほんの散歩道）表紙が見えるように並べている
・図書館が混んでいるときは、こちらで本をペラペラと開き、選ぶ児童生徒もいる
・図書館支援員が棚にテーマを決めて配置





「えほんの散歩道」後半は、先生たちから詳しく知りたい」と学校図書館支援にリクエストがあった、特集が組まれている

テーマは「オノマトペ」のある本を紹介

・マルチメディアDAISYの作品ポスターを掲示
見るための方法も掲示



・2階職員室前の廊下にも
表紙が見える様に掲示
マンガやおしゃれな図鑑など
・2階は中高生の教室のため進路に向けた本やYAを意識した本を用意







1階スクールバス玄関（児童生徒が登下校時使用する玄関）のスペースには
地域の公共図書館の広報誌（YA向き）と貸出可能な雑誌（2誌）を配置

学校図書館支援員が『図書館だより』を作成



雑誌の隣には「紙芝居ステーション」と題して紙芝居コーナーを設置

学校図書館支援員が2か月に一度発行
教員が授業に使用できる本
季節の本を意識している

学校図書館だより

9～10月号

令和8年9月

東京都立鹿本学園　学校図書館支援員

夏休みも終わり、2学期がスタートしました。
まだまだ暑い日もありますが、涼しい秋はもうすぐそこまで来ています。
秋といえば、「読書の秋」！！
是非、図書館に来てください。
たくさんの本が、皆さんとの出会いを待っていますよ。





10月27日(火)から11月9日(月)は秋の読書週間です。
1947年、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと、第1回「読書週間」が開催されました。
今回は80回目です。



秋の絵本



『どんぐりころちゃん』
みなみじゅんこ／作
アリス館
♪どんぐりころちゃん　あたまはとんがって♪
楽しいわらべうた絵本です

『さわさわ　もみじ』
ひがしなおこ／作　きうちたつろう／絵
くもん出版
さわんさわん、さわさわ･･･いろとりどりのもみじが風にふかれて飛んでいきます





『しゃっくりガイコツ』
マージェリー・カイラー／作
S.D. シンドラー／絵
椎名 かおる／訳　あすなろ書房
ガイコツはしゃっくりがとまりません
どうしましょう？

『おおきなかぼちゃ』
エリカ・シルバーマン／作
S.D. シンドラー／絵
おびかゆうこ／訳　主婦の友社
魔女はかぼちゃのパイをつくるため
大きなかぼちゃを作りましたが･･･



本校の貸出状況

☆本校の蔵書数は約４０００冊
　→児童生徒・教職員数と比べると多くない
☆貸出数（令和７年度）約９８００冊
　→１冊につき２回以上貸出されている
☆除籍数（令和７年度）約３０冊
　→激しく破けている。製本の糸や糊が再起不可能
🌈知的教育部門の貸出数がダントツ（在籍数が多い）
　肢体不自由教育部門もそれなりに多い
🌈学校図書館支援員が勤務していることで先生方からの本の相談
　先生方の貸出数も増

学校図書館ができること

様々なジャンルの資料(本)を揃えること

・児童生徒の「好き」は様々
　0類から9類までの資料を揃える
　毎年「ここの〇類を重点的に購入しよう」と計画
・「好き」と発達に見合う資料も気にする
　「好き」の幅が広がること
　年齢に見合った資料もあること
・先生方の授業のアイディアが思いつくような学校図書館
　図書館に行ったら、何かヒントかあるかも!?
　学校図書館支援員の活用

児童生徒の「好き」は様々

好きなもの好きなことはみんな異なる

電車の本が好きな子は「電車の本」を目当てに学校図書館に来館する。でも、気に入った本がない時も…

泣いてしまうか？　OR　他の本も開いているか？

他の本も開いてみるほうが断然得！！→世界が広がるチャンス

その為に様々なジャンルの資料を計画的に購入

毎年「〇類を重点的に購入しよう」と計画している

できれば

0類から9類までの資料を揃える

「好き」と発達に見合う資料も気にする

学校図書館は自己決定ができる場所（誰にも邪魔されずに…）

「好きなもの」は好きでよい

他にも「好き」が広がる可能性がある場所でもある

ただし、年齢に見合った資料も用意！

いつまでも、〇〇というわけにはいかない

授業で題材にするための資料として発達に見合った資料も用意することも学校図書館の務め

絵本「春はあけぼの」「蜘蛛の糸」「寿限無」「注文の多い料理店」など

先生方の授業のアイディアが
思いつくような学校図書館

学校図書館は教職員のが学べる場所でもある。貸出はOK！

時折「借りてもいいですか…？」と

そのたびに、「先生が授業を作り出す場所です」と

「で、どんな本を探していますか？」と全力で協力

「図書館に行ったら、何かヒントかあるかも!?」

学校図書館支援員の勤務日を掲示し、先生方が相談できる日を作る

学校図書館支援員による研修（初任者向け）





学校図書館支援員による研修（夏季研修）



江戸川区中央図書館から研修で紹介する本を団体貸出

夏休み中の公共図書館は多忙の中でしたが、リストの本はすべて揃いました

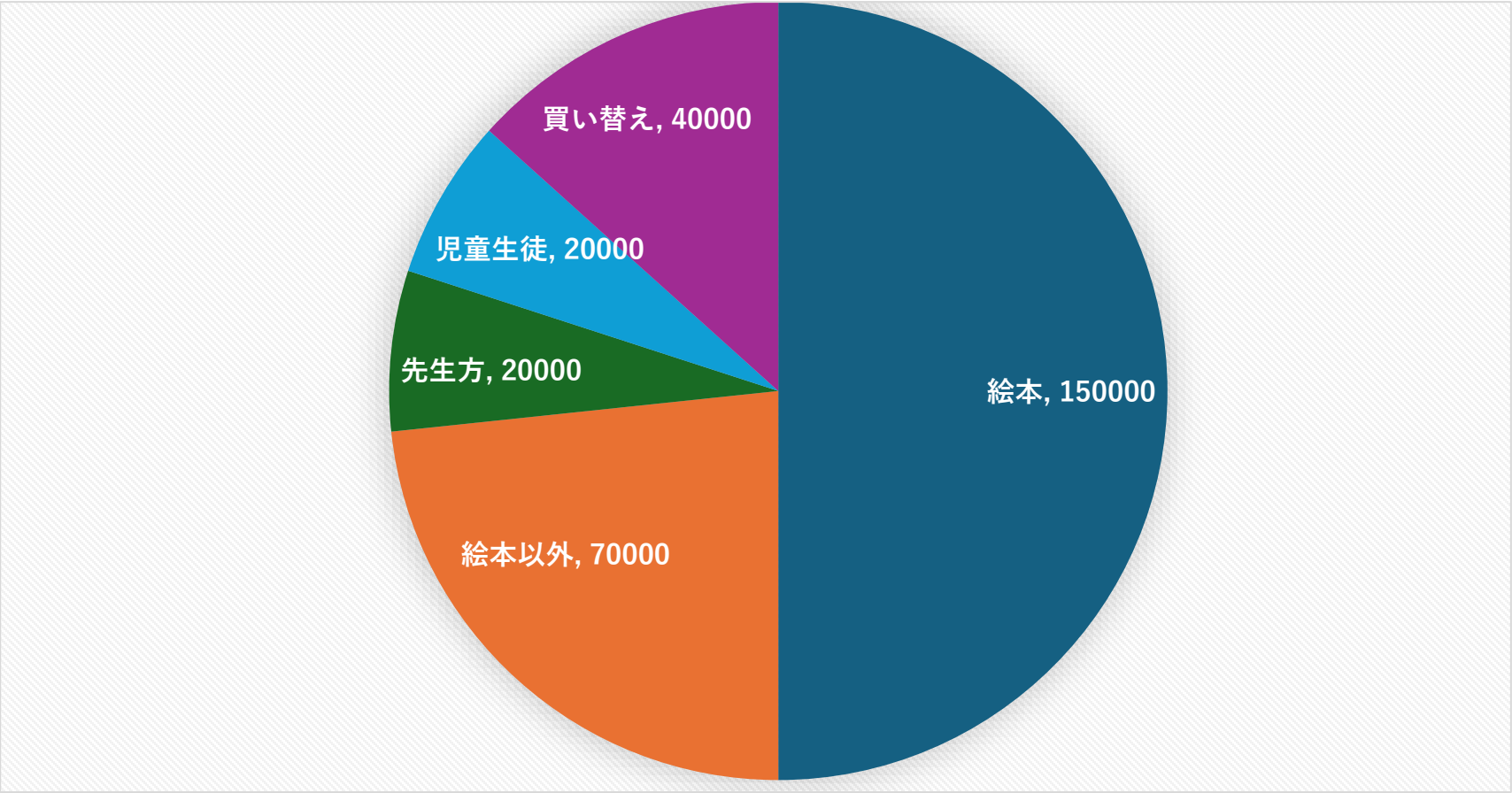




本校の選書について

本校の総人数は約７７０名

今年度の資料費は３０万円（昨年度より５万円UP）



購入するときは、まず…

・今まで貸出され、ボロボロになった資料
→児童生徒にとっては、かけがえのない資料
・基本の絵本
→長く読まれている作品は、授業作りのヒントになる
・毎年重点的に購入する分類
→今年度は4類　来年度は5類…と計画した分野
・先生方のアンケート
・児童生徒からの「あの本、あるかな？」

毎年

先生方にも希望を必ず聴く

なぜ？→学校図書館は先生たちのものでもある
どのように？→先生方が使用するPC「全校掲示板」に掲載
毎朝行う朝会でもアナウンス
資料について質問することも…
明らかに、先生が読みたい本では…？と感じるもの

購入できた！→アンケートを出した先生に直接伝える
購入できなかった→直接理由を伝える

子どもも先生もお話会の世界に

いつ→月に2回

どこで→児童生徒が学習する各教室で

だれが→外部専門員（全員が司書　公共図書館勤務経験あり）

お話の会「うさぎ」（「うさぎさん」と呼ばれている）

どのように→「希望用紙」に記入し提出日に担当者まで提出

児童生徒の実態・リクエストが記入あると、プログラムが立てやすい

プログラムとは→児童生徒の実態・生活年齢に応じた内容の本や紙芝居、わらべ歌で構成

学部・学年・ グループ	肢体不自由小学部　　年　　組 C　　G（　　準ずる　課程）
児童生徒数 (男女比・学年比)	４名（うち男　３　名、女　１　名） （　1年生1名　５年生１名　６年生２名） 〇〇さん　□□さん　　☆☆さん　♡♡さん
希望日・時間	①　９月１８日（金）１３：００　～１３：２５まで
子ども達の実態	準ずる教育課程ですが、読むことが苦手な様子です。 どのようなものが好きなのか、読めそうなのかを探りたいです。 読みに偏りがあります。 好きな絵本作家だけしか読まない〇年生。 赤ちゃん絵本ばかり読む〇年生 幼年童話の面白さに気が付いた〇年生。 前回よりも、内容があるものがいいと思います。
お話のリクエスト	はじめと終わりの歌はカットでお願いします。 どんなジャンルでも構いません。 写真科学絵本ありでお願いしたいです。
担当教員名	生井

お話会については、
こちらの書籍を御覧下さい



まとめ

学校

〇学校図書館が児童生徒・先生方にできること・役立つは無限大

→個々の学校よって必要なこと、欲しい情報が異なるためその学校に合った学校図書館でよい

校長先生

〇無限大を実現するためには

→学校図書館の館長である校長が学校図書館の必要性や設置する目的や効果を深く理解していること（必須）

地域

○地域の公共図書館
ボランティアの活用

→専門知識がある公共図書館の司書
お話会・学校図書館の整備などを
して下さる方を増やすことで児童
生徒の言葉・本への興味や人と関
わる力が育つ
入ってくださる方には障害への理
解につながる
どちらもwin winである(^▽^)/

御清聴ありがとう
ございました



